

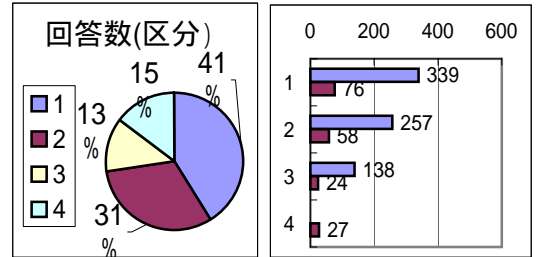
「企業の森づくり活動」に関するアンケート集計

平成21年3月実施

(社)にいがた緑の百年物語緑化推進委員会

「緑百年」2008法人会員(抜粋)、「緑の募金」協力企業					
区分	回答数	発送数	回答率		
1 法人正会員	76	339	41.1%	46.2%	22.4%
2 法人賛助会員	58	257	31.4%	35.0%	22.6%
3 募金協力社(非会員)	24	138	13.0%	18.8%	17.4%
4 区分不明(無記名)	27		14.6%		
計	185	734	100.0%	100.0%	25.2%

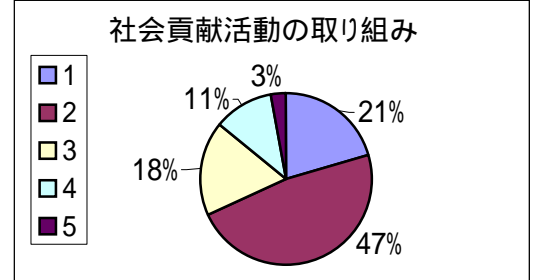
回答率は、25.9%である。1/4以上の回答があった。



問1 貴社(団体)は、社会貢献活動(CSR)に現在取り組んでいますか。

1 積極的に取り組んでいる	38	20.5%
2 少し取り組んでいる	88	47.6%
3 あまり取り組んでいない	33	17.8%
4 全く取り組んでいない	21	11.4%
5 その他(別紙)	5	2.7%
計	185	100.0%

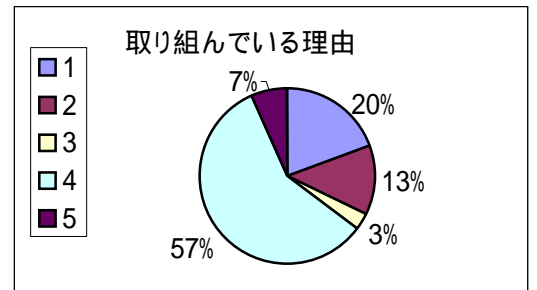
回答者の68.1%が何らかのかたちで取り組んでいる。



問2 社会貢献活動(CSR)に取り組んでいる理由は何ですか。(は1) 取り組んでいる回答者限定

1 利益の一部を社会に還元するため	32	19.5%
2 周りの評価の対象となるため	21	12.8%
3 情報を入手するため	5	3.0%
4 企業(団体)も社会に責任があるため	95	57.9%
5 その他(別紙)	11	6.7%
計	164	100.0%

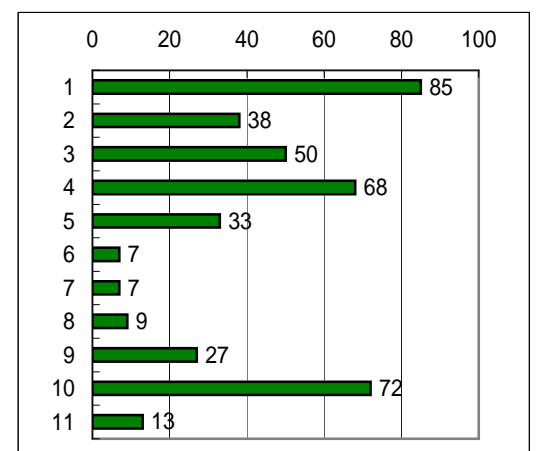
半数以上が社会的責任を意識している。



問3 現在取り組んでいる社会貢献は何ですか。(複数回答可)

1 環境保全	85	20.8%
2 文化・芸術・スポーツ	38	9.3%
3 森林の整備や保全	50	12.2%
4 地域・まちづくり	68	16.6%
5 子ども・教育支援	33	8.1%
6 海外支援	7	1.7%
7 医療支援	7	1.7%
8 学術・研究活動支援	9	2.2%
9 社会福祉関係	27	6.6%
10 本業による貢献	72	17.6%
11 その他(別紙)	13	3.2%
計	409	100.0%

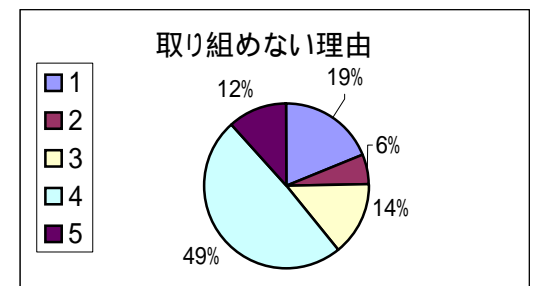
森林は12.2%と少ないが、環境、地域、子どもの組み合わせも可能



問4 社会貢献活動に取り組めない理由は何ですか。(複数回答可) 取り組んでいない回答者限定

1 何ができるかわからないから	13	18.8%
2 社内で合意がとれないから	4	5.8%
3 どれくらい経費がかかるかわからないから	10	14.5%
4 余裕がないから	34	49.3%
5 その他(別紙)	8	11.6%
計	69	100.0%

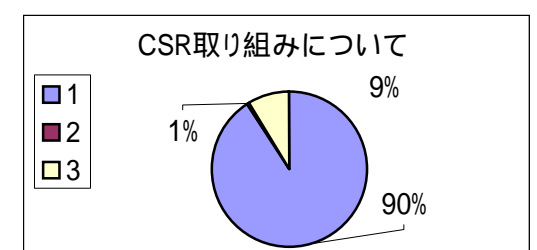
提案によっては1/3が取り組み可能



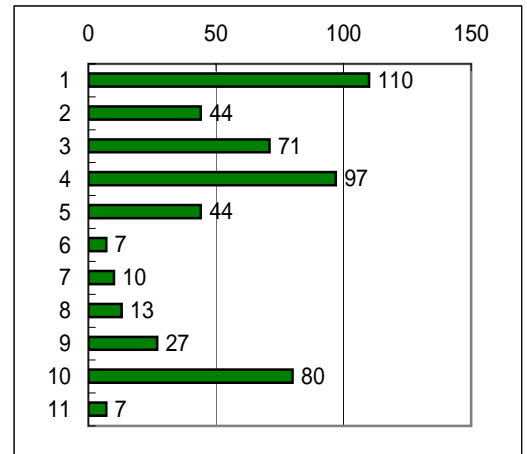
問5 貴社(貴団体)は社会貢献活動(CSR)に対する取り組みについてどのように考えていますか。(は1)

1 取り組みは必要である。	171	91.0%
2 必要ではない。	1	0.5%
3 その他(別紙)	16	8.5%
計	188	100.0%

殆どの企業が取り組みの必要性を認識している。

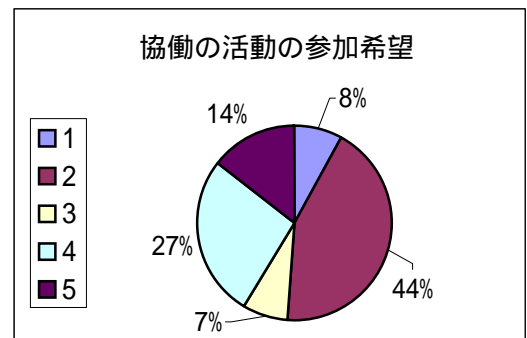


問6 今後行うとしたらどのようなことをしたいですか。 (複数回答可)			
1	環境保全	110	21.6%
2	文化・芸術・スポーツ	44	8.6%
3	森林の整備や保全	71	13.9%
4	地域・まちづくり	97	19.0%
5	子ども・教育支援	44	8.6%
6	海外支援	7	1.4%
7	医療支援	10	2.0%
8	学術・研究活動支援	13	2.5%
9	社会福祉関係	27	5.3%
10	本業による貢献	80	15.7%
11	その他(別紙)	7	1.4%
計		510	100.0%



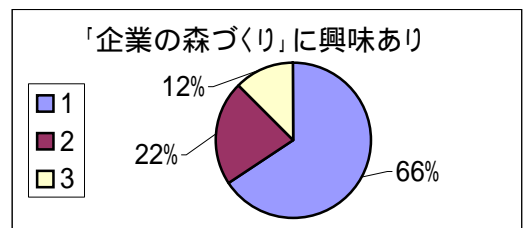
企業の業務内容により違いあり

問7 森林を守り育て未来に引き継ごうと県内でも様々な活動が行われていますが、貴社は地域やボランティア団体(NPO)など協働で行う活動に参加したいと思いますか。(は1)			
1	積極的に参加したい	15	8.0%
2	できれば参加したい	81	43.1%
3	あまり参加したくない	14	7.4%
4	わからない	51	27.1%
5	その他(別紙)	27	14.4%
計		188	100.0%



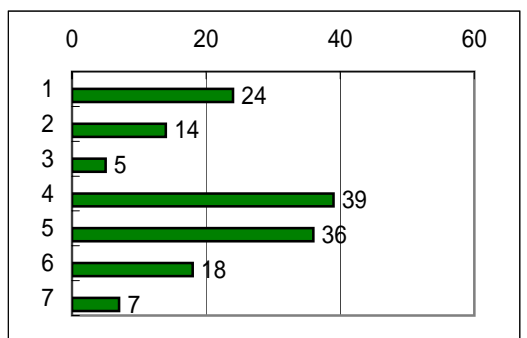
参加希望は高い(96社)

問8 当委員会では「緑の募金」活動を行っているが、使途限定「緑の募金」による企業の森づくりに興味がありますか。(は1)			
1	ある	90	65.7%
2	ない	30	21.9%
3	その他(別紙)	17	12.4%
計		137	100.0%



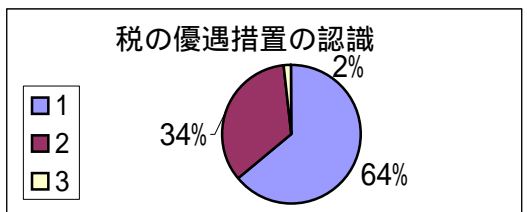
回答者の70.9%(90社)が「緑の募金」の「企業の森づくり」に興味あり

問9 どのような参画に興味がありますか。(は1) 興味あり回答者限定			
1	社員(職員)でボランティア活動をしたい	24	16.8%
2	福利厚生(レクリエーション)としての利用	14	9.8%
3	企業名を入れ森づくりをしたい	5	3.5%
4	地域との交流	39	27.3%
5	「緑の募金」のみ支援したい	36	25.2%
6	具体的にはわからない	18	12.6%
7	その他(別紙)	7	4.9%
計		143	100.0%



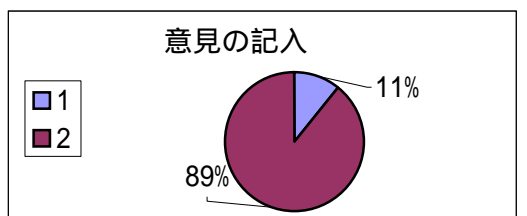
様々な方法での参画意識が見られる。

問10 「緑の募金」への寄付金は所得税・法人税の優遇措置がありますが、ご存知ですか。(は1)			
1	知っている	113	63.8%
2	知らない	61	34.5%
3	その他(別紙)	3	1.7%
計		177	100.0%



「緑の募金」の優遇措置を知らない法人が34.5%あり

問11 その他、ご意見があればご記入してください。(別紙)			
1	記入あり	22	10.9%
2	なし	179	89.1%
計		201	100.0%



別紙に記載

「企業の森づくり活動」に関するアンケート その他のご意見

問1 貴社(貴団体)は、社会貢献活動(CSR)に現在取り組んでいますか。

- ・図書贈呈
- ・コンサート開催
- ・ふるさとのスギの森林整備
- ・罪を犯した人達の更生保護
- ・ハンセン病患者への支援
- ・自然公園とビオトープの造成
- ・ホテルの里づくり
- ・里山開発の作業路の造成

問2 社会貢献活動(CSR)に取り組んでいる理由は何ですか。

- ・感謝、恩返し
- ・社会貢献のために収入を得て“生態系を取り戻す産業づくり”を行いたい
- ・ライオンズクラブの一環として、会員の親睦と奉仕により社会に貢献する団体だから
- ・「地域社会の皆さまとともにあること」を行動で示すことが大切であるという方針を掲げているため
- ・社会の役に立たなければ企業は存在価値がない
- ・互いに支えあっている事を社員に実感してもらうため
- ・暖房費の節減のため(灯油等の使用をひかえる)
- ・CSRを通じて社会的存在価値を高めるため

問3 現在取り組んでいる社会貢献は何ですか。

- ・地域の美化清掃(2)
- ・地域の活性化
- ・マングローブ植林
- ・地域振興の一環として信越県境の信濃川に横断鯉のぼりの掲揚を13年間継続実施
- ・海岸保安林整備作業の参加
- ・間伐材利用後の木端を暖房に利用する
- ・トキの野生復帰に対する協力
- ・ビオトープ造成
- ・他団体への重機作業等の協力
- ・小学生に対する防犯教育(出前講座)

問4 社会貢献活動に取り組めない理由は何ですか。

- ・個人で対応したい
- ・今年の9月末で工場閉鎖のため
- ・財源が国、県費、借入金であり、CSRの経費に拠出できないため
- ・個々の取り組みに委ねている
- ・本業により貢献しているため

問5 貴社(貴団体)は社会貢献活動(CSR)に対する取り組みについてどのように考えていますか。

- ・取り組みは必要なのでNPOを通して住まいの正しいあり方の教室を行っている
- ・必要だが、取り組めないジレンマに苦慮している
- ・当社の設立趣旨、事業活動そのものがCSRであり、別途の活動の余裕はない
- ・必要とは思いますが、組織として取り組む余裕はない
- ・何かの貢献したい気持ちを他の形で表している

問6 今後行うとしたらどのようなことをしたいですか。

- ・現在の取り組みへの継続
- ・農地の保全
- ・すべての項目に対し、今後も力を注いでいきたい
- ・内容により、個別に判断する
- ・地域でゲートボール大会の主催をしている

問7 森林を守り育て未来に引き継ごうと県内でも様々な活動が行われていますが、貴社(貴団体)は地域やボランティア団体(NPO)など協働で行う活動に参加したいと思いますか。

- ・仕事とは別にできる範囲で両立したい
- ・できれば参加したいが、個人営業を守ることで精一杯
- ・当社の設立趣旨、事業活動そのものがCSRであり、別途の活動の余裕はない
- ・必要とは思いますが、組織として取り組む余裕はない
- ・何かの貢献したい気持ちを他の形で表している
- ・参加してもいいのかな・・・こんな程度
- ・業務が多岐に渡っており、また業績低迷が続いているため歩調が合わないの現状
- ・既に自社で植林活動を行っている
- ・今は独自で行える範囲で行いたい
- ・生態系をどのように考えているのか、循環型社会をどのように捉えているかを理解されている活動であることが重要。いろいろ考えると、自分たちで主体的に活動したいと思う
- ・時間と費用が厳しいが、タイミングがあれば参加しても良い

問8 当委員会では「緑の募金」活動を行っています。同封のパンフレットにある用途限定「緑の募金」による「企業の森づくり」に興味がありますか。

- ・内容がよくわからない
- ・単体では困難
- ・現行CSRの継続
- ・今後検討したい
- ・わからない
- ・余裕があれば協力したい
- ・業務が多岐に渡っており、また業績低迷が続いているため歩調が合わないの現状
- ・興味があるが再建途中で8年間赤字決算なので大声では言えない
- ・企業における財源が確保しにくい

問9 どのような参画に興味がありますか。

- ・社員に強制はできないが、ボランティア活動に参加したい
- ・利益の一部を地球温暖化防止に役立てているが、今後は地域の植樹なども考えている
- ・里山を昔のような生態系や動植物、水の循環を考えた森にしたいと企画している

問10 「緑の募金」への寄付金は所得税・法人税の優遇措置がありますが、ご存知ですか。

- ・同封のパンフレットで初めて知った(2)
- ・赤字で法人税を払っていない

問11 その他、ご意見があればご記入してください。

- ・返信遅くなり申し訳ない
- ・回答を参考にしてほしい(2)
- ・工場閉鎖のため今年度から「緑の募金」は中止
- ・押し付けではなく、地域の環境や特性を生かした取り組みが大切であり、地域での様々な形があって良いと思うし、取り組みを考える人達が、自ら企画し、自分たちの地域の歴史を尊重した取り組みが大切だと思う。
- ・里山を昔のような生態系や動植物、水の循環を考えた森にしたいと企画しているので、このようなことの支援をしてほしい
- ・厳しい状況の中、無理をせず出来ることから始めている(2)
- ・企業の緑化コンクールなどを主催し、緑化意識の高揚をはかっては如何
- ・ボランティア、地域社会への貢献も必要と思いますが、本業もお座なりにはできない。本業こそが貢献と考えている
- ・法人会員リストは公開できないか。企業間の交流促進を図る目的で活用したい
- ・地球温暖化防止、森づくりは重要であり、今まで通り支援したい
- ・具体的にどのような活動をするのか不明確なので、アンケートに正確に答えきれない
- ・新潟のスギは三流といわれるのはおかしいので、もっとPRして新潟の森を全国ブランドにしてもらいたい
- ・会社で「緑の募金」活動をしているが、毎回「緑の羽根」が大量に余ってもったいないので、何か良い方法はないか
- ・売り上げ減少、赤字のため、社会貢献活動は縮小している(4)
- ・ご苦労さま、がんばってほしい(3)
- ・子どもたちに農業用水と水源林の関わりをPRしている。この事業普及送信促進のため、何か協力できることがあれば検討したい
- ・オーストラリアの森林火災報道を受け、新潟県でも森林火災を惹起させないためにも手入れが必須
- ・毎年助成を受けており、役立てている
- ・厳しい年だが、時代を全力でがんばりたい。
- ・環境保全や企業の森づくりなどの植樹を行うにあたって植生調査を行なうべきで、その上で樹木の選定をし、植栽するのが望ましい